



「地域のためにわたしたちができること」をテーマにした総合学習の時間で、ごみが環境に与える影響を調べた3人。その結果、感じたことを中心に奥州市への期待の声を寄せてくれました。

地域のつながりから 奥州市全体のまともりを



わたしはことし厄年を迎え、2月に胆沢で行われた農はだての集いに参加しました。今後は祭りなどを通して各地区の人たちが交流する機会も増えてくると思います。

地区のつながりを深めつつ、さらには奥州市全体のまともりが強くなるよう期待しています。

福田寿和さん 40代
(胆沢区)

合併することでいろいろな人が集まり、大きな活動もできるようになる面はいいと思います。ただ、小さな地域にも目を向けることを忘れないでほしいと思います。

写真左 浅沼智美さん 10代(江刺区)

不法投棄などの悪循環を断ち切るのは最後は人間の心。奥州市では、次の世代を切り開く小・中・高生がごみ問題を身近に感じられるようなことを行ってほしいです。

写真中央 阿部好恵さん 10代(江刺区)

奥州市は住みよく、きれいな市であってほしいと思います。例えばイベントが終わった後は、市民みんなが道路や川辺の清掃を行うようにするのもいいと思います。

写真右 田村有加さん
10代(江刺区)

2月20日に生まれたよ



初めての子が、奥州市誕生という歴史的な日に生まれ、喜びも二重になりました。生き生きと輝く自然の草花や、澄んだ川の水のような、きれいな心を持った子に育てて欲しいという思いを込めて「菜々瀬」と名付けました。

これから新しいまちづくりが始まりますが、菜々瀬を含めたすべての子どもたちが、奥州市に生まれてよかったなと誇れるようなまちになって欲しいと思います。川井理さん・恵子さん夫妻とかわいい菜々瀬ちゃん(水沢区)

2月20日に入籍したよ

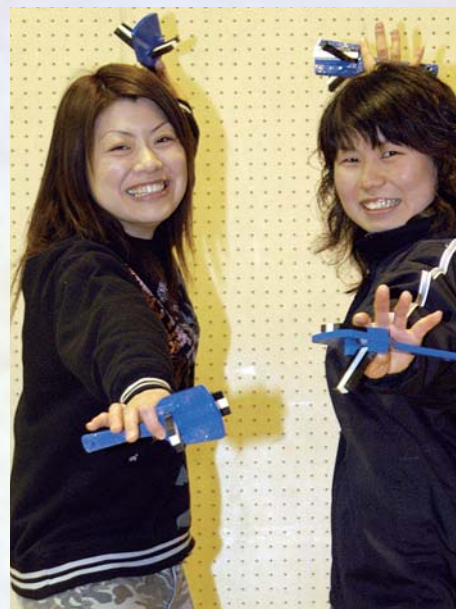


奥州市誕生の日に入籍することは、2人の記念にもなることなので、前々から決めていました。新市のスタートの日が、わたしたちの新しい生活の第一歩になったことをとてもうれしく思っています。

合併してまちは大きくなりましたが、これからも自然の豊かさや田舎のすばらしさを大切にしながら、奥州市がより一層飛躍していくことを期待しています。

青沼敏行さん・幸江さん夫妻(胆沢区)

奥州市の若者たち、 若く、かつこよく頑張ろう



ことしの奥州前沢春まつりへの参加を目指して活動をしている「前沢25歳厄年連戌獅青風会」で衣装担当をしています。悩むことも多いですが、ひとつの目標に向かって取り組んでいることがとても楽しい。奥州市として発展はして欲しいですが「のどかな部分」など前沢のよさは残してほしいと思います。まちの活性化のためにも、同年代の若い人たちが何か“熱くなれるもの”をもって頑張ってもらいたいです。

写真左 佐々木幸子さん 20代(前沢区)

厄年連の活動では、踊り担当をしています。取り組みを通じてお互いのきずなを深め合っています。25歳が頑張ることで、春まつりを成功させ、まちを盛り上げたい。「ひとつのことを作り上げていく喜び」をもっともっと多くのみんなと共有したいし、味わってもらいたいです。せっかく合併したのだから、同じ年代の人と集まれる機会がほしいと思います。

写真右 岩渕香織さん 20代(前沢区)

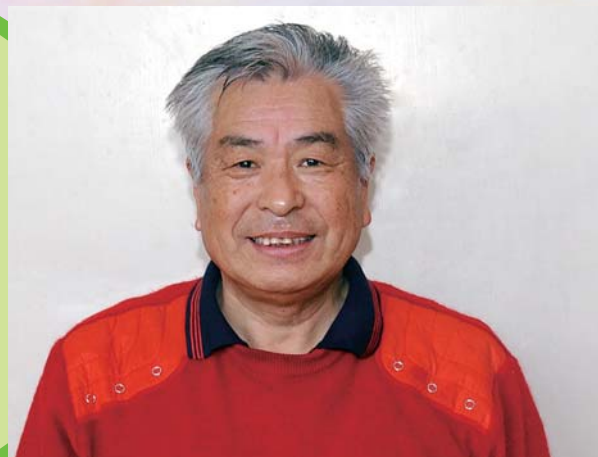
地域にも目を向けた行政を

合併して間もないため、新市としての大きな動きもまだなく、どのような方向で奥州市が進んでいくのかが見えていないところです。

これから市長や議員の選挙がありますが、今はそれが最大の関心事。行政も新市建設計画のビジョンを打ち出していましたが、それらが絵にかいたもちにならないように、しっかりとまちづくりをしてほしいと思います。

また、大きな市になったことで、“太い管”のみに気を取られることなく、その太い管につながる“細い管”、いわゆる地域コミュニティにもしっかりと目を向けて、大切にしてほしいと思います。

なおし
蜂谷侃さん 60代(水沢区)



地産地消活動を通して 多くの人と交流したい



今は「がんばりかあちゃんの会」のみんなと地元産食材を使った食品づくりや販売を楽しんでいます。

地元産の大豆を使った豆腐は、好評で学校給食にも使われています。

このような活動をこれからも継続していければいいですし、他地域の皆さんとの交流の機会を積極的に持ちたいです。

高橋恵美子さん 60代(衣川区)